

中野区画街路第 4 号線の拡幅整備に伴う 意向把握調査結果の説明会の開催状況について

中野区画街路第 4 号線の拡幅整備に伴う意向把握調査の結果について、昨年 11 月 21 日、22 日の 2 日間の日程で説明会を開催したので、開催状況について報告する。

1 開催日時及び会場

平成 26 年 11 月 21 日（金）19 時 00 分～21 時 00 分 沼袋区民活動センター

平成 26 年 11 月 22 日（土）14 時 00 分～15 時 30 分 沼袋区民活動センター

（※ただし、21 日は、30 分間開催時間を延長）

2 参加者数

2 日間合計 61 名 [36 名（11/21）、25 名（11/22）]

3 対象者

中野区画街路第 4 号線の拡幅整備に伴う沿道敷地及び隣接敷地の関係権利者

4 主な質問と回答

質 問	回 答
調査結果の「無回答」や「わからない」という方について今後どうするのか。	引き続き個別訪問等を実施していく。
補償内容や用途地域の見直し等の情報が無い段階では判断できない。これらの内容を示したうえで再度意向を調査すべき。	用途も含め、まちづくりのルールや土地利用等の検討を、今後、行っていく。意向調査は、今後も引き続き実施していく。
5 月に行う予定の説明会が 11 月まで遅れている。期限を必ず守ってほしい。	5 月の調査時点では、回答数が少なく追跡調査させていただいたために 11 月となった。
他の連立事業では線路跡地に交通広場を作っているが、なぜ沼袋は跡地を交通広場としないのか。	交通広場の位置は、交通の利便性や安全性などを考慮し、現在の配置が適切であると判断した。
鉄道跡地は具体的に何をするのか。沼袋の特徴を活かすべき。	鉄道跡地の活用については、周辺道路の幅員が狭いことや東西の道路ネットワークが弱いことなど、地域の状況に十分配慮し検討していきたい。
借家人への説明はしないのか。	借家人についても事業の進捗に合わせてお話をさせていただく。

中野区画街路第4号線は、H26年度に事業化するのか。	残地の活用や、まちづくりのルールや土地利用等の検討をしたうえで、事業化していきたい。
建物の高さ規制の見直しや、隣地の残地の活用について、いつになったらスケジュールを示してくれるのか。	まず残地を活用した沿道のまちづくりの検討や、地区計画等を含めたまちづくりのルールや土地利用等の検討が必要。今後、スケジュールについて検討したうえで、説明させていただく。

5 説明会についてのアンケート結果（主な意見）

① 説明会の感想について

- ・大変良かった。
- ・一方的な説明で理解できなかった。
- ・本年2月に開催された説明会の内容からほとんど進展がない。残念だ。
- ・今後、住民との意見交換の場を増やしてほしい。

② 中野区画街路第4号線の事業についての不明な点について

- ・早く事業を進めてほしい。
- ・補償額の基準や税金の控除について知りたい。
- ・事業開始、完成予定はいつごろなのか。
- ・代替地(交換)の可能性。
- ・残地の活用について十分に検討すべきだ。
- ・事業計画は急ぐべきでない。
- ・狭小残地を買ってほしい。
- ・土地の整理方法など個別に相談したい。

③ その他

- ・沿道の建物は3階以上として防火帯をつくるのがよい。
- ・痛みを伴う住民が納得できる地区計画を提案してほしい。
- ・西武新宿線の跡地利用や駅前広場の具体的な構想が不明だ。

6 その他

- ・引き続き意向確認ができていない関係権利者等に対して、個別の説明及び相談を実施していく。